

小学校体育サポート研修会の開催について

報告者 田 村 博
(JFA 女子サッカー普及コーディネーター徳島県担当／小学校体育サポートインストラクター)

1 研修会開催趣旨

サッカーは、学校体育の教材としても長く親しまれ、様々な長所を持つチームゲームです。だれもが、いつでも、どこでもサッカーに楽しめる環境をより積極的に作っていきたいと考えている中で、サッカーが小学校体育の授業で取り上げられ、ゴールが置かれ、サッカーに触れてもらう機会があることはとてもありがたいことであり、体育の教材としてより有効に活用していただきたいのですが、指導される先生ご自身にサッカーや、スポーツ経験が乏しかったり、クラス内で子どもたちに技能差があったりするような場合、「サッカー授業の難しさを感じる」という声もよく聞かれます。小学校では専科として体育を行うわけではなく、多くの教科を担当する中での教材研究には大変なご苦労があることも耳にします。そこで、少しでも体育のサッカー授業にお役に立てればと思い、巡回指導とは異なる概念で、先生方や教員をめざす学生の方ご自身に授業をするためのサポートとして、サッカーの楽しさを体感していただき、これならばできそうだと実感していただきたい、さらにその楽しさを児童にも伝えていただきたいという願いから、研修会を開催したいと考えています。徳島県では初めての開催となります。

2 研修会概要

(1) 日時

平成30年12月23日(日) 15時～17時(受付14時30分)

(2) 場所

四国大学体育館(徳島県徳島市応神町古川字戎子野123番地1)

(3) 講師及び研修会担当スタッフ

北野孝一(講師)

田村博

広田圭祐

佐藤駿丞

(4) 対象者

四国大学生生活科学部児童学科の学生32名(予定)

(5) 実施内容

実技75分 講義45分(合計120分程度)

①実技:

参加者のみなさんに、サッカーの楽しさ、運動の楽しさを「これならできる!」という手ごたえを感じていただく内容となります。参加者のみなさんが楽しいと感じていただくことが「楽しい授業」を行う一番のポイントであると考えます。

②講義:

実際の授業を研究・計画するうえでのポイントや、単元のねらい、領域目標、児童の発育発達に則したプログラム全体の考え方をお伝えします。

講 師

北 野 孝 一

(金沢市立大浦小学校／(公財)日本サッカー協会 小学校体育サポートプロジェクト)

1987年 筑波大学体育専門学群卒業

2008年～(公財)日本サッカー協会キッズプロジェクト

2011年～(一社)石川県サッカー協会理事

2011年 上越教育大学大学院修士課程終了

2012年～(公財)日本サッカー協会小学校体育サポートプロジェクト